

尾久中央地区 まちづくりニュース



令和7年 11 月

令和7年度 第1回協議会の開催結果

尾久中央地区防災まちづくり協議会（以下「協議会」）では、「安全で安心して住み続けられる災害に強いまち」の実現に向けて活動を行っています。

今年度は、昨年度見直しを行った協議会の「ロードマップ（活動計画）」に基づき、『防災マップの周知』と『災害イメージトレーニングの実施』の実施を予定しています。また、今年度から新たに 15 名の方に協議会にご参加いただいています。

令和7年8月 28 日に開催した「令和7年度第1回協議会（第 43 回総会）」では、次回協議会にて実施する「災害イメージトレーニング」について意見交換を行いました。

災害イメージトレーニングの概要

災害が起きた時のまちの状況をイメージし、「発災時の時間経過とともに必要な対応」や、「平時から必要な取組み」を考えるトレーニングです。

地震が起きたら
どう行動する？



普段から
必要な備えて
なんだろう？

＜災害イメージトレーニングに関するご意見＞

●参加者・開催日程

- ・協議会員以外に学生にも参加してもらえると良い。
- ・平日の夜は町会関係の会合もあり集まりづらい。学生が参加しやすい日程も考慮すると、土日の午前が良いだろう。



●実施方法・内容

＜火事について＞

- ・当地区の最も大きな問題は火災であるため、災害時にどうやって皆で避難するかを考えられると良い。
- ・初期消火の重要性を学びたい。



＜古い家屋の倒壊について＞

- ・倒れる建物の数は震度によっても異なるため、被害想定等からリアルな数値が出せると良い。

＜その他＞

- ・地盤沈下により道路が陥没する恐れがある。
- ・家具の転倒などにより、逃げ遅れる可能性がある。

＜ライフラインの停止について＞

- ・停電の場合、昼間と夜では被害が異なる。夜に発生すると暗闇になる。
- ・タワーマンションなどでは、エレベーターの停止などの影響がある。

＜危険なブロック塀について＞

- ・阪神淡路大震災の際、ブロック塀の倒壊によって何割の道路が塞がれたかを知りたい。



防災マップの周知チラシを掲示しています！

防災マップは昨年度完成し、全戸配布を行いました。今年度は、ロードマップ（活動計画）に基づき、『防災マップの周知』として令和7年7月から防災スポットの掲示板にて防災マップの周知チラシを掲載しています。ぜひお近くの防災スポットの掲示板をご確認ください。

●防災スポットの掲示板

尾久中央地区内の防災スポットを対象に、周知チラシを掲載しています。



（写真：小台通り防災スポット）

●周知チラシ



二次元コードから
防災マップのサイト
にアクセス

防災マップはこちらからもご確認できます！

北エリア



南エリア



荒川区からのお知らせ

皆さまのご意見を聞かせてください！

今後の防災まちづくりの参考とさせていただく目的で、まちづくりに関するご意見をGoogleフォームにて受け付けております。

- （ご意見例）
- 防災に関するご意見
 - 建物や建替えに関するご意見
 - 道路や公園など公共施設に関するご意見
 - 協議会活動やまちづくりニュースに関するご意見 など

※いただいたご意見には原則ご返信しておりませんが、まちづくりニュース等でご紹介する予定です。



二次元コード
Googleフォーム

【尾久中央地区のまちづくりに関するお問い合わせ先】

荒川区 防災都市づくり部 住まい街づくり課
防災街づくり係（区役所北庁舎2階12窓口）
担当：内藤、高梨
電話：03-3802-4319（直通）

これまでのまちづくりニュースは、
区のホームページで見ることが
できます。

密集事業 荒川区

